

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○ 教育目標の具現化に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着をもてる学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しいと思える学習を行い、豊かな心、健やかな体、確かな学力の育成に努めます。 ・自尊感情や自己有用感を育むことにより、自分を大切にできる子どもを育てます。 ・多面的多角的な見方や考え方のできる子どもを育て、多文化共生の学校生活を目指します。 <p>○ 教職員相互が啓発・連携・協力しながら教師としての資質・指導力の向上に努め、チーム並四として学校力向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域と連携し、学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との密な連携を図りながら、子どもたちが安心して学べる学校づくりに努めます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	豊かな心	すべての教育活動を通じて、自尊感情、自己有用感を育み、自他を理解する気持ちを持ち、より良い人間関係を築ける児童を育てることに努めます。	<p>① 道徳教育並びに特別活動を通して、認め合う・高め合う人間関係づくりをさらに深めていく。 指針1 「道徳の時間」の充実</p> <p>② 人権教育推進計画を全職員で共有し、職員の人権感覚・意識を高め合い、児童の指導にあたる。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成</p> <p>③ たてわり活動を人間関係づくりの基盤とするため、活動機会や場面を年間を通して活動の流れが続くように位置づけ、活動内容を充実させていく。 指針2 体験学習の充実</p>
	人権委員会 道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、学習や生活に前向きに取り組んでおり、教師や友達と関わるのが好きで、素直に自分の気持ちを表現し、人懐こい子どもが多い。各学年には外国につながる子、交流級で個別支援級在籍の子、学習や人との関わりが苦手な子、家庭支援が必要な子など様々な背景や困り感をもった子ども達がいる。それぞれの見方や考え方には違いがあることに相互で気づき、良い関係づくりが少しずつ図られてきている。しかし、まだまだ傷つける言動をしてしまう様子も見られ、その時に相手の気持ちに寄り添える子ども、学級集団として課題がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・ 研修会を実施し、教師自身の道徳の時間の指導力向上を図る。
- ・ 全学級の道徳授業公開を年一回以上実施するとともに、懇談会等でも話題として取り上げ、家庭との共通理解、連携を図る。【視点1】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ 重点研究で Y-P アセスメントの結果に基づき「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を実施したり、人権週間の取り組みをしたりして仲間づくりへの子どもの社会的スキルを育成する。
- ・ 研修を通して、職員の人権感覚・意識を見つめ直し高めながら、協働して取り組む校内の支援体制づくりを目指す。【視点7】

指針2 体験学習の充実

- ・ 運動会、わくわく活動など取り組みを通して、たてわり活動を充実させ、異学年での対話を大切にし、つながりを深め、思いやりの心を育てる。【視点3】